

アカデミック・セントラル通信

No. 3 令和五年三月

アカデミック・セントラルと岐阜大学における教育

岐阜大学学長 吉田和弘



岐阜大学では「東海国立大学機構アカデミック・セントラルを中心とした教育体制と環境の確立」をテーマのひとつに掲げ、「国際通用性のある質の高い教育の実践」というビジョン達成に向けて鋭意努力しています。東海国立大学機構が発足してから三年が経過しましたが、その間の活動として、デジタルユニバーシティ、学生ステータス

システム、地域活性化人材育成事業 (SPARC) の三点について述べたいと思います。東海国立大学機構が掲げるデジタルユニバーシティ構想に関連して、岐阜大学では、ハイフレックス型講義の実施環境の整備を進めるとともに、教育においては名古屋大学と連携して、数理・データサイエンス教育を開始しました。その結果、教育推進・学生支援機構基盤教育センターが展開する全学共通教育では、リベラルアーツや数理・データサイエンスなどを幅広く学べる環境の整備が進み、文理横断的・異分野融合的な知を備えた人材の育成が可能となりました。学生たちにはこのような

充実した全学共通教育を十二分に活用し、自身の掲げた夢の実現を目指してコロナ新時代を切り開いていくことを期待します。

業 (SPARC) に応募し、採択されました。岐阜大学は、高度専門職業人養成、質の高い研究、国際化を展開し、成果を地域に還元することにより「地域活性化の中核拠点」を目指しています。この目標実現のため、平成十年より「ネットワーク大学コンソーシアム岐阜」の事務局大学として、岐阜県の高等教育を牽引してきました。SPARC 事業を推進するために、東海国立大学機構アカデミック・セントラルのもとに

地域高等教育基盤センターを設置し、普遍的知識・能力を備え、新たな課題に挑戦する人材の育成により、我が国や地域の未来を創造することを最終目標としています。

モノで溢れる豊かな時代において必要なものは「心」です。東海国立大学機構アカデミック・セントラルとともに、知識・技能だけでなく「仁徳」を身に付けた学生の育成を目指していくことが求められています。

学生ステータスシステムは、学生が自らの学習の進捗状況を客観的に捉えて、自主的に学ぼうとする姿勢を強化すること

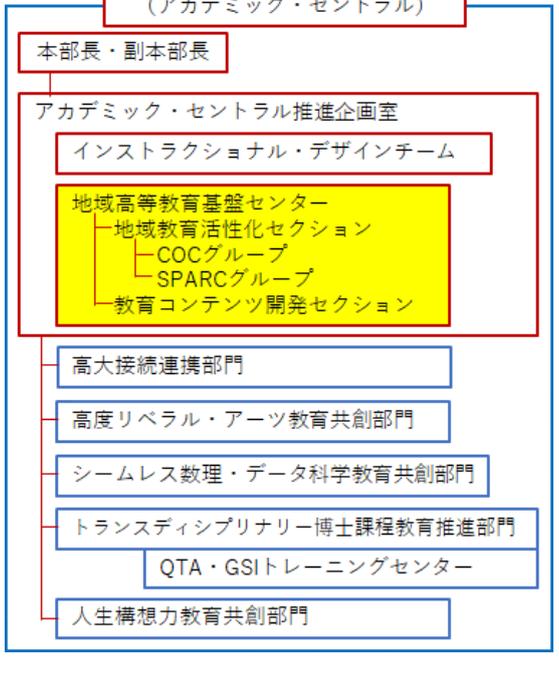
アカデミック・セントラルの組織変更

を目的として導入を進めています。岐阜大学の全学共通教育では「進・伝・考」の九項目からなる基盤的能力において、教育の達成度を評価しています。学生ステータスシステムは、これらを可視化して学生自身のみならずの学習の進捗を確認できるとともに、部活動やボランティアの経験などの自発的活動も記録できる学びの記録として利用できるように計画されています。

アカデミック・セントラルには、本部長・副本部長の下にアカデミック・セントラル推進企画室 (以下「推進企画室」という) があり、アカデミック・セントラルの活動方針、活動計画を策定

今回、岐阜大学が提案

岐阜大学では、このたび地域活性化人材育成事業



したSPARC事業が採択されたことに関連して、アカデミック・セントラルの組織改編が行われ、推進企画室の中に地域高等教育基盤センターが設置され、人生構想力教育共創部門から一部委員を異動しました。今後、このセンターが中心となってSPARC事業を推進していきます。

制定されました。そのことを受けて、令和五年度は、連携開設科目が単位取得科目として開講され、連携開設科目が単位取得科目として開講されます。連携開設科目は、

皆さんの受講生の参加が期待されます。演習課題等の共有を進めています。

東海デジタル人材育成プラットフォーム
東海国立大学機構に所属する二大学がコンテンツを相互利用できるようなための共通プラットフォームとして、機構LMSの運用が令和五年度より開始されます。

東海国立大学機構に所属する二大学がコンテンツを相互利用できるようなための共通プラットフォームとして、機構LMSの運用が令和五年度より開始されます。このシステムの名称は東海国立大学機構LMS、通称はTACT(Tokai Academic Combination QTA/GSI)トレーニングセンターです。教員を目指す大学院生のために指す大学院生のために講じています。

東海国立大学機構に所属する両大学の教員が協力して開講しますが、いずれかの大学が開講を担当する大学となる必要があります。開講科目の一覧を表に示します。これらの科目の一部は、令和四年度は単位互換科目として開講されました。両大学からたく

東海国立大学機構に所属する二大学がコンテンツを相互利用できるようなための共通プラットフォームとして、機構LMSの運用が令和五年度より開始されます。このシステムの名称は東海国立大学機構LMS、通称はTACT(Tokai Academic Combination QTA/GSI)トレーニングセンターです。教員を目指す大学院生のために指す大学院生のために講じています。

東海国立大学機構に所属する両大学の教員が協力して開講しますが、いずれかの大学が開講を担当する大学となる必要があります。開講科目の一覧を表に示します。これらの科目の一部は、令和四年度は単位互換科目として開講されました。両大学からたく

東海国立大学機構に所属する二大学がコンテンツを相互利用できるようなための共通プラットフォームとして、機構LMSの運用が令和五年度より開始されます。このシステムの名称は東海国立大学機構LMS、通称はTACT(Tokai Academic Combination QTA/GSI)トレーニングセンターです。教員を目指す大学院生のために指す大学院生のために講じています。

連携開設科目の開講

令和四年度に連携開設科目に関する規定が

令和四年度に連携開設科目に関する規定が

岐阜大学開講科目一覧

- 持続可能な地域と環境リテラシー
- 野外活動実習
- 岐阜の自然と人：森、川、湿地の利用とその保全
- アントレプレナーシップ入門
- アントレプレナー実践学
- 現代社会とボランティア・地域活動
- 高年次教養セミナー I、II

名古屋大学開講科目一覧

- 基礎セミナー（化学実験で調べてみよう）
- 基礎セミナー（物理実験で調べてみよう）
- 基礎セミナー（時事問題で学ぶファシリテーション）
- 超学部セミナー（PBL マーケティング）
- 超学部セミナー（現代経営学入門）
- 超学部セミナー（目指せソーシャルビジネス起業）
- 環境学入門
- Studium Generale A、B
- 超学部セミナー（Summer Camp）
- 海外留学準備セミナー
- 短期海外研修 A、B（北米）
- 短期海外研修 C、D（欧州）
- 短期海外研修 E、F（アジア・オセアニア）



基礎セミナー（時事問題で学ぶファシリテーション）

このシステムを利用することで、学

編集委員会

編集長 藤巻 朗 副編集長 山田 敏弘

編集委員

安部 有紀子、加藤 真紀、北 栄輔、清島 絵利子、古泉 隆、瀧瀬 守、児玉 英明、小松 雅宏、齋藤 芳子、白村 直也、竹永 啓悟、橋本 智裕、長谷川 曉人、廣内 大輔、益川 浩一、松井 真弓、松永 洋介、松本みゆき、丸山 和昭、山里 敬也、和嶋 雄一郎